

第31回 秋田県「新技術・新工法」説明技術・工法等一覧

No	テーマ		企業名 (フリガナ)		登録番号 (NETIS等)
	名称 (技術・工法名称、商品名称) (フリガナ)	特徴及びアピールポイント 【キーワード】		ジャンル	
1	ランバス・スノー	落石防護と雪崩予防機能を兼ね備えたエネルギー吸収型積雪対応落石防護柵である。支柱はアンカーで係留する構造のため、大掛かりなコンクリート基礎が不要となる。ワイヤーロープ製ネットは設置延長方向に伸縮可能であるため、急な現場対応でも柔軟に対応が可能であり、カーテン式によるネット施工は、高所作業の軽減により施工安全性向上に貢献する。 【柔構造、省力化、施工安全性向上】	日鉄建材(株) (ニッテツケンザイ)	砂防工	HK-240011-A
2	地中埋設管探査地中レーダ(チチュウ マイセツカンタンサ チチュウレーダ)	電磁波を利用し、高深度探査を実現可能にした低価格地中レーダである。ノイズの少ないクリアなデジタルデータが取得可能で、特に構造物(道路や堤防等)下部の空洞や埋設物などの調査に最適である。そのため、試掘時の地下埋設物破損事故などを防ぐ効果が期待できる。・・【機械損料が安価(経済性向上)】	(有)三伸商事 (サンシンショウジ)	調査試験	KT-220059-VE
3	①位置プラス®「進捗管理」 ②位置プラス®「高車管理」	「位置プラス®」は独自に開発した複数の位置認識技術「位置認識プラットフォーム」を活用した、施工管理アプリである。 ①「進捗管理」:各職が部屋毎の作業開始/完了をスマホ入力して進捗状況を共有化、管理者業務を55%削減 ②「高車管理」: 予約調整機能と利用把握機能を用いた運用で、管理業務を70%、レンタルコストを20%削減	㈱朝日興産 (アサヒコウサン)	その他	①KK-240010-A ②KT-240054-A
4	EHDアンカーHP工法	プレート止水構造・グリースレス頭部による維持管理の確実性及び容易さを有した高耐久グラウンドアンカー	弘和産業(株)(コウワサンギョウ)	その他	HK-230017-A
5	補強布を用いない塗布型FRP防食・NM工法 (ノンマツコウホウ)	ローラー・刷毛・コテ等で塗装することで、防食被膜を形成するコンクリート構造物等の防食被覆工法。従来技術で必要とされたガラスマットの裁断、割付、含浸脱泡工程の省略が可能。本技術の活用により、作業性の向上、コストの低減が期待できる。特許第7066236号(コンクリートの防食方法)【作業性向上・省力化・コスト低減】	大泰化工株式会社 (ダイタイカコウ)	その他	KK-240076-A
6	レジンモルタル保護層付FRP防水・IRM工法 (アイアールエムコウホウ)	自走式駐車場向けの防水工法で、従来はウレタンゴム系高強度防止工法・超速硬化吹付タイプ駐車場密着仕様で対応していた。本技術の活用により駐車場防水の耐久性を向上し、タイヤチェーン装着車の走行にも対応可能となる。【耐久性向上・経済性向上・部分的に施工可能】	大泰化工株式会社 (ダイタイカコウ)	その他	KK-230013-A
7	パカッ君工法 (パカックンコウホウ)	BH山積1.9m3に超低騒音型ブレーカを装着し、チゼルの軸先端の鉄板に5本のチゼルを取付けた小割用特殊装置である。特に小さな岩塊を掴み込みとらえ熟練者以外でも容易に破碎する事ができる。小割量は80m3/日であり工期短縮が期待できる。:山積0.8m3仕様有 【コスト縮減・施工性・工期短縮・周辺環境への影響抑制】	株式会社 神島組	土工	KK-220045-A
8	かち割る君工法 (カチワルクンコウホウ)	特殊芯材をインプラントして先端の強化を図り、削孔した孔にチゼルを挿入し間接的に大型ブレーカで打撃する事で楔の効果より引張強破碎で岩盤を引き裂き破碎する割岩工法である。 中硬岩の場合、日当たり破碎量は222m3になる。(日破碎量で従来技術「大型ブレーカ掘削」の約5倍) 【工期短縮・周辺環境への影響抑制】	株式会社 神島組	土工	KK-230009-A
9	法面モルタル補強用ビニロン(クラテック®) RFD400H×18 (ノリメンモルタルホキョウヨウビニロン(クラテック®)RFD400H×18)	ビニロンを法面吹付モルタルの補強繊維として用いることで従来必要だったラス金網敷設の省略ができ、工期短縮、省力化、美観維持を実現。また、ビニロンはひび割れ抑制、剥落対策、曲げ補強性、耐凍害性などの効果を持ち、耐久性を向上させる(長寿命化)。また、本技術のビニロンは分散効果が高く、繊維同士の絡まり(ファイバーボール)を抑制し施工性を向上させた。 【工期短縮・施工性安全性向上・ライフサイクルコストの低減】	㈱クラレ (㈱クラレ)	土工	CG-230017-A
10	インフラ監視クラウドシステム OKIPPA (インフラカンクラウドシステムオキッパ)	センサBOXを設置するだけで傾斜・伸縮・雨量等が監視できるシステムである。 従来技術では基地局や配線等の設備設置が必要であったが、本技術では自営の基地局や配線の設置が不要な省電力の広域無線通信(LPWA)を採用しているため、安価で手軽に長期利用が可能である。 【点検業務省力化・コスト縮減・施工性】	西松建設株式会社 (ニシマツケンセツカ ブシキカイシャ)	共通工	KT-190097-VE